

碑文

第二次世界大戦の戦犯として中国に抑留された
私たち 一千百九名うち 千葉県五五名は

中国政府の思いもよらぬ寛大な処遇を受け

一人も処刑 されることなく 一九五六年以降釈放
され 全員帰国を許されました

私達が侵略者として中国で犯した滔天の罪行は
被害者の心情を思えば思うほど深くして
なを重くとても償 えるものではありません

私達は過去への反省を込め 帰国後中国帰還者
連絡会をつくり 恒久平和を希求し

反戦と 日中友好に努めて参りました

帰国四十年に当たり今在る我が身を想い

『怨みに報ゆるに徳を以て為す』偉大なる

中国人民に対し限りない感謝と謝罪の誠を捧げ
亡き先達の遺族と共に此の地に碑を建立し
永遠なる 日中友好の誓いとします

一九九七年七月吉日

建立趣出忌圭口

中帰連は世にも珍しく貴重な存在であります。

それは

第一に 第二次世界大戦の戦犯が作った会であること。

第二にその戦犯とは、中国を侵略し罪業の限りを尽くしたにも拘らず、一人も処刑 されることなく釈放され日本に帰国出来たこと。

第三にこれらの戦犯は中国に拘留中、中国人民の 社会主義的 人道主義の処遇を受け己の所業と対比して前非を悔い、覚めることが出来たことです。

私達は自分の殺めた 中国人民や、戦争の惨禍で塗炭の苦しみを嘗め尽くした多くの 人々悲痛な叫びをしかと身に受け止め、加害者としての反省から中帰連に結集して ある者は残虐な戦争の語り部となり、或る者は 反戦運動の活動家として、 戦争犯罪の生き証人となつて 後半性を生きて参りました。

しかし会員の中にはいろいろな事情を抱えていて会の活動に積極的に 参加出来ず 常にひげめを感じ じながらそれでもなを中帰連との絆を放すまいと苦心して、何か事あらば結集して来る 会員が多く居ることも事実 であります。

私達は 積極的であれ 消極的であれ、 中帰連の 会員であること

が尊いのであります。

中国の寛大政策の生き証人として、また 侵略戦争犯罪の生き証人として 帰国後手を取り合つてあの苦難を乗り越えて生きた事実こそ尊いと言 わなければなりません。

私達は万死に値する 戦争犯罪人 であります。この万死に値する者を生かして下されたことこそ崇高であり、だからこそ私達は 一生懸命に生 きなければなりません。それにひきか

え私達が殺めた中国の 殉難烈士は再び帰つては参りません、どのように謝罪したらよいの

でしょうか、- 生かかっても償 いきれるものではありません。しかし私達は遠からず全員この世を去り 中帰連もやがて自然の摂理に従つて消滅 するでありましょう。

私達のような 戦争犯罪人を二度と再びこの世に輩出してはならず、中帰連のような戦犯の会は私達だけで沢山です。

生きてその罪を償えず、死してもなお償 いきれなかつた者が生きていたという事実を、 中国人民に対する限り無き謝罪と感謝の誠を石碑に託し何時までもいつまでもこの世に残しておきたいのです。